

3 教員にきく

前頁までの「東大の今，東大生の今」に続き、ここからは教養教育の名の下に実際に教鞭を執る方々の意識を考えてみたい。

「教養教育」班が，駒場の教員 100 名に対してメールでアンケートへの回答をお願いしたところ，15 名の先生方からお返事をいただくことができた。回答してくださった方々に感謝申し上げたい。

学生アンケートでは「教員にやる気がない」という所感も見られた。一体、教員はどんなモチベーションで教壇に立っているのだろうか。東大の教養教育をどう見ているのだろうか。そして、「教養」をどのように捉えているのだろうか。

以下は、教員に送付したアンケートである。

問 1

先生の考える「教養」とはどういったものですか。

問 2

ご自身が大学生だったとき，東京大学に限らず大学の教育についてどのような考えをお持ちでしたか？ また「教養」というものをどのように考えていましたか？ お書きください。

問 3

東大では「教養教育」を掲げ，前期 2 年は教養教育，後期 2 年は専門教育とする特徴的なカリキュラムが組まれています。このカリキュラムの下で，「教養教育」は成功していると思いますか？ また，その理由を教えてください。

問 4

東大の教養課程に関して，「ここがダメだ」「ここを変えればもっと良くなるのに」などと感じている不満や要望を教えてください。進学振り分け制度についてや，授業，教官，学生についてなど，とにかく何でも OK です。

問 5

もしご自身の手で大学の教育システムを改善するならば、どのような点に着手したいですか？ ビジョンがあれば書いてください。

問 6

「この人は教養がある！」と思う人は誰ですか？（何人でも書いてください）

問 7

ご自身の専門以外のトピックについて、「ためになる」「何かを学べる」という理由で利用している Web ページはありますか。あれば具体的に挙げてください。

こじまのりみち
小島憲道 先生

総合文化研究科・教養学部¹

¹ 2007年より、総合文化研究科長・
教養学部長を務める。

問 1

先生の考える「教養」とはどういったものですか。

「教養」とは西洋では「リベラルアーツ」という言葉で表現されてきました。「リベラルアーツ」の起源は、古代ギリシャ・ローマまでさかのぼれる概念で、「人を自由にする学問」という意味を持っており、教育の対象として文法、修辞学、弁証法、算術、幾何、天文、音楽という自由七学科を意味しておりました。ここで重要なのは、自由七学科を繋ぐ中心に哲学があったことです。近代ヨーロッパにおいては、実利性、職業性といったものから開放された自由な学問という意味で、教養のあり方を表す概念として使われて来ました。様々な知識を統合し、新しい価値観を生み出していく能力を涵養するための教育がリベラルアーツ教育であります。ギリシャの哲学者エピクロスが弟子に宛てた手紙の中に「未来を恐れないために若き日に哲学を覚えよ」と書いていますが、将来を予測することが困難な現代社会にあって、哲学を中心に据えたりベラルアーツ教育が若い世代に必要なのはここにあります。

教養とは、専門と一体となった時、真価を発揮するものと思っています。多くの企業のトップと話をする機会がありますが、教養教育の重要性を共通して主張しています。すなわち、大企業でさえ、路線を変更せざるを得ない局面にしばしば遭遇しますが、将来を見据えた組織の舵取りには幅広い知識と深い教養が真価を発揮することを述べています。

問 2

ご自身が大学生だったとき、東京大学に限らず大学の教育についてどのような考えをお持ちでしたか？ また「教養」というものをどのように考えていましたか？ お書きください。

私は、1968年に京都大学理学部に入学しました。1966年までは、京都大学理学部には進学試験制度があり、定員を超えた学科では2年生修了時に行われる試験で進学振分けが行われました。1967年には、大学紛争の影響もあり、進学試験制度が完全に廃止され、例え定員をオーバーしても希望する学科に進学できる仕組みになりました。私は、化学と物理学にまたがるマテリアルサイエンスの研究者になりたいと思っていましたので、化学と物理学を自由に学ぶことが出来、この制度の恩恵を受けたと思っています。京都大学理学部の教育制度のこのような改革はメリットもありましたが、勉強する学生と勉強しない学

生のスペクトルが余りにも広がってしまうデメリットがあり、社会に優れた人材を送り出す大学の使命という観点から教育制度の見直しが行われました。

「教養」という面では、1, 2年生の授業より、所属していたサークル（京大 YMCA）の先輩・同期生から得たものが沢山ありました。ケルケゴール、サルトル、ハイデッガー、シモーヌ・ヴェーユ、ボンハッフアーなどの読書会での議論は高校では殆ど体験することの無かった事で全て新鮮でした。京大 YMCA での議論では、自分の意見・思想がなければ議論に入っていくことはできなかったので必死でした。ちなみに、聖路加病院の日野原重明氏は京大 YMCA の大先輩です。

前期課程での教養教育とは、リベラルアーツに関する種を蒔くことだと思っています。授業では、京都大学1年生の時に受講した「美学」が、私にとってリベラルアーツの種を蒔いてくれた授業でした。教材の「悲劇の誕生」（ニーチェ著）を通して、ニーチェ、ワグナー、フルトヴェングラー他を深く知るきっかけとなりました。

問 3

東大では「教養教育」を掲げ、前期2年は教養教育、後期2年は専門教育とする特徴的なカリキュラムが組まれています。このカリキュラムの下で、「教養教育」は成功していると思いますか？ また、その理由を教えてください。

成功していると思う

絶対的な評価は難しいですが、旧国立大学の教養教育に関する会合が毎年開催され、それぞれの大学における教養教育の現状報告を聞いていますが、他大学の教養教育と比べると東京大学における「教養教育」は成功している方だと思っています。教養教育を担当している教員集団の熱意と創意・工夫が歴然としています。しかし、国際的に通用する教養教育を実践するには、更なる創意・工夫が必要であると思っています。このため、昨年と一昨年、初年次教育で高い評価を受けているハーバード大学およびペンシルヴェニア州立大学の視察のために、教職員を派遣しました。理系の基礎実験に関しては、MIT およびスタンフォード大学の視察のために教職員を派遣しました。

問 4

東大の教養課程に関して、「ここがダメだ」「ここを変えればもっと良くなるのに」などと感じている不満や要望を教えてください。進学振り分け制度についてや、授業、教官、学生についてなど、とにかく何でも OK です。

- ・ 教養教育の重要な目的の一つは、広い観点から学問の多様性と奥深さを理解し、特定の専門分野に偏らない総合的な視点や柔軟な理解力を獲得することです。しかしながら、進学振り分け制度のもとで、希望する学部・学科に進学できることが最大の

目的となり、試験で高得点を取りやすい選択必修科目を履修する傾向があり、教育理念と現実のギャップが現状です。将来国際的に通用する人材として活躍するために、履修しやすい科目で選択するのではなく、深い教養を身に着けるために多くの総合科目を履修することを望んでいます。また、国際コミュニケーションの観点からヨーロッパの言語及びアジアの言語をそれぞれ1つずつ履修することを願っています。

- ・優れた授業は、優れた研究を行うことから生まれるものと思っています。すなわち、研究の情熱が教育への情熱に転換されてはじめて、優れた教育が出来るものと思っています。
- ・未知の事柄について飽くなき探求を行う姿勢が今の学生に欠けていると言われていました。授業で質問したとき、「まだ教えられていません」という返事を聞いて驚くことがあります。これは、大学入学試験で出題される履修範囲が文部科学省によって決められており、大学入学試験で出題される履修範囲以上の知識を獲得する機会が乏しく、真理を探究する能動的な学びを促す環境が不十分であったことも大きな要因と思っています。教養学部では、小人数の環境の中で、ICT支援による能動的な協調学習を支援し、現代社会が求める課題発見／解決の基礎能力の養成を目指すため、理想の教養教育のモデル実験教室 (Komaba Active Learning Studio (KALS)) を 2007 年に設置しました。KALS を活用した ICT 支援による能動的な協調学習の実践は、現在、建設を目指している「理想の教育棟」のための重要な起点でもあります。

問 5

もしご自身の手で大学の教育システムを改善するならば、どのような点に着手したいですか？ ビジョンがあれば書いてください。

- ・総合文化研究科・教養学部の特色として、「学際性」、「文理融合」、「国際性」を目指していますが、必ずしも十分とは言えません。理系および文系の教員と学生が参加する「教養学部金曜談話会」を開き、人文社会学の先端研究や自然科学の先端研究の情報を共有する仕組みが出来ればと思っています。
- ・2008年に、新カリキュラムを履修して専門課程に進学した学生に教養教育に関するアンケート調査を行いました。この中で、「幅広い知識の獲得」などの満足度は高かったですが、「他者との討議力」や「他者への発信力」などは不十分であることが分かりました。OECDが提唱しているPISA対応の学力（討議力、課題を見出し解決する能力など）を育成することが今後の課題です。幅広い知識と深い教養は決して個人の中にだけ自己沈潜するものでなく、それが組織の中で生かされることにより、組織そのものが向上していくことを社会が求めています。これを実践する仕組みを探索しています。2008年に、東京大学に入学した理系の全ての学生（約1,800人）を対象に、科学英語のライティング能力を養うため、外国人特任教員を10名雇用し、高度英語習得プログラム ALESS (Active Learning of English for

Science Students)を開始しましたが、教員と学生同士が討議し質の高い英文報告書を作成する ALESS プログラムは能動的学習を促す教育システムの第一歩と思っています。

問 6

「この人は教養がある！」と思う人は誰ですか？（何人でも書いてください）

- ・ ワイツゼッカー（元ドイツ大統領）：著書『荒野の 40 年』などから判断。
- ・ アマルティア・セン（1998 年ノーベル経済学賞）：著書『人間の安全保障』（集英社新書）などから判断。
- ・ 西周（にしあまね）：明治期、西洋から導入された多くの抽象的概念に対し、四書五経など中国の文献に基づき様々な漢語（哲学など）を創出し、中国はこれらの漢語を逆輸入した。西周なくしては、日本語の豊かな抽象的概念の言葉は生まれなかったことから判断。
- ・ 新渡戸稲造（元旧制一高校長，元国際連盟事務次長）：著書『武士道』（英文）および『一日一行』，生涯をかけたリベラルアーツの実践を通して判断。
- ・ 矢内原忠雄（初代教養学部長，元東大総長）：『失樂園』（ミルトン）の解説をはじめとする『矢内原忠雄著作集』，生涯をかけたリベラルアーツの実践を通して判断。
- ・ 南原繁（元東大総長）：『南原繁著作集』，生涯をかけたリベラルアーツの実践を通して判断。
- ・ 神谷美恵子（精神科医）：『生きがいについて』等の著書，ラテン語で書かれたマルクス・アウレリウス著『自省録』の翻訳などを通して判断。
- ・ 朝永振一郎（1966 年ノーベル物理学賞）：著書『物理学と何だろうか』（岩波新書）および『スピンはめぐる』（みすず書房）などを通して判断。

問 7

ご自身の専門以外のトピックについて、「ためになる」「何かを学べる」という理由で利用している Web ページはありますか。あれば具体的に挙げてください。

様々な事柄を確認するときに Google, Wikipedia をよく利用しますが、あくまでも取掛かりであり、引用された第一次資料（原典）に遡る姿勢を持ち続けたいと思っています。

さとうひかり
佐藤光 先生

超域・比較文学比較文化

問 1

先生の考える「教養」とはどういったものですか。

自立した個人として社会生活を営むための拠りどころ

問 2

ご自身が大学生だったとき、東京大学に限らず大学の教育についてどのような考えをお持ちでしたか？ また「教養」というものをどのように考えていましたか？ お書きください。

「東京大学に限らず」というのが、なんだか。これが不要だ、ということがわかるぐらいの日本語力と「教養」を身に付けてほしい。18歳の私は、なんかおもしろくないやろか、とろろろしていたという以外、大学の教育について考えたことはありません。「教養」というものをどのように考えるものにも、そもそも考えるための「教養」がなかったんだから。

問 3

東大では「教養教育」を掲げ、前期2年は教養教育、後期2年は専門教育とする特徴的なカリキュラムが組まれています。このカリキュラムの下で、「教養教育」は成功していると思いますか？ また、その理由を教えてください。

あの分厚いシラバスをパラパラめくっていると、もぐってみたい授業が山のようにあります。いろんな人が言っていますが、引き出しは多いほうがいい。駒場はうろろろするのにいい所だし、そのまま居着くのにもいい所。リベラル・アーツはおもしろいもんだよ。斜に構えて、それっぽい不満だけ並べて、駒場を活用しないとすれば、とても惜しいことです。

問 4

東大の教養課程に関して、「ここがダメだ」「ここを変えればもっと良くなるのに」などと感じている不満や要望を教えてください。進学振り分け制度についてや、授業、教官、学生についてなど、とにかく何でも OK です。

学校というところはビニールハウスみたいなもので、「オープン」とか「公平」とか「客観性」なんてものは、幻想にすぎない。もっとたくましく、ふてぶてしくなりたいものです。誰が？ さあ？

問 5

もしご自身の手で大学の教育システムを改善するならば、どのような点に着手したいですか？ ビジョンがあれば書いてください。

会議と授業の準備で精一杯なのに、このアンケートに答えている私って、泣けるやん。

問 6

「この人は教養がある！」と思う人は誰ですか？（何人でも書いてください）

なんか、いやらしい問いなので、答えない。

問 7

ご自身の専門以外のトピックについて、「ためになる」「何かを学べる」という理由で利用している Web ページはありますか。あれば具体的に挙げてください。

あっても教えてあげない。

〈匿名〉

問 1

先生の考える「教養」とはどういったものですか。

悪くいえば、雑学、一般常識

価値や方向性の決定や議論をする時に背景となる広い意味での知識

問 2

ご自身が大学生だったとき、東京大学に限らず大学の教育についてどのような考えをお持ちでしたか？ また「教養」というものをどのように考えていましたか？ お書きください。

大学は専門知識を身につける場所と考えており、教養はそれ以外の場所で、例えば読書や議論を通じて身につけるべきものと考えていました。

問 3

東大では「教養教育」を掲げ、前期 2 年は教養教育、後期 2 年は専門教育とする特徴的なカリキュラムが組まれています。このカリキュラムの下で、「教養教育」は成功していると思いますか？ また、その理由を教えてください。

わかりません。上のように教養は教育されるものという意識がないので、何が教養教育の成功なのかかわかっていません。ただ、教育を通じて、教養のロードマップというか何を自分で学べばいいかという俯瞰図が得られるように思われ、そのようなものを得る機会を積極的に与えられる環境はうらやましいです。

問 4

東大の教養課程に関して、「ここがダメだ」「ここを変えればもっと良くなるのに」などと感じている不満や要望を教えてください。進学振り分け制度についてや、授業、教官、学生についてなど、とにかく何でも OK です。

前期の学生の皆さんと深く議論する機会が少ないので、実際のところはわかっていませんが、進学振り分けに色々と問題があるのは伺っています。ただ一方で、改善案も思いつかず、またそういうジレンマは、どのような場面でもありうるような気もして、本当に「ダメ」なのかも判断しかねています。

問 5

もしご自身の手で大学の教育システムを改善するならば、どのような点に着手したいですか？ ビジョンがあれば書いてください。

ありません。

問 6

「この人は教養がある！」と思う人は誰ですか？（何人でも書いてください）

最近よくお話しする機会がある学部長の小島憲道先生は教養があるなあと思っています

問 7

ご自身の専門以外のトピックについて、「ためになる」「何かを学べる」という理由で利用している Web ページはありますか。あれば具体的に挙げてください。

特にありません。これがいけないのかも。

〈匿名〉

問 1

先生の考える「教養」とはどういったものですか。

提供されるさまざまな諸学を学んで、自分で再構築する場だと思っています。また、教養から出て専門へと移りますが、最終的には教養へと帰ってくる、そういう場だとも思っています。広い意味での哲学とほぼ同義だと捉えています。

問 2

ご自身が大学生だったとき、東京大学に限らず大学の教育についてどのような考えをお持ちでしたか？ また「教養」というものをどのように考えていましたか？ お書きください。

あまり変わっていません。

問 3

東大では「教養教育」を掲げ、前期 2 年は教養教育、後期 2 年は専門教育とする特徴的なカリキュラムが組まれています。このカリキュラムの下で、「教養教育」は成功していると思いますか？ また、その理由を教えてください。

理念はいいのですが、実際には問題があるかもしれません。1 つは進学振り分けですかね。点取りゲームに狂奔しているのであれば。

問 4

東大の教養課程に関して、「ここがダメだ」「ここを変えればもっと良くなるのに」などと感じている不満や要望を教えてください。進学振り分け制度についてや、授業、教官、学生についてなど、とにかく何でも OK です。

進学振り分け。もう 1 つは、各書類から進学を想定される学部に進む場合と、別の専

門となる学部へ移る場合とで、要求水準が違いすぎる点。たとえば、文 III から教養学部（たとえば、うちの言語情報学科）に進むには高い点数が要求されますが、他の科類から進むのは比較的容易です。文 III 生を気の毒に思うことがあります。

問 5

もしご自身の手で大学の教育システムを改善するならば、どのような点に着手したいですか？ ビジョンがあれば書いてください。

まだまだ考え中。

問 6

「この人は教養がある！」と思う人は誰ですか？（何人でも書いてください）

たくさんあって、書ききれません。

問 7

ご自身の専門以外のトピックについて、「ためになる」「何かを学べる」という理由で利用している Web ページはありますか。あれば具体的に挙げてください。

特になし。

〈匿名〉

問 1

先生の考える「教養」とはどういったものですか。

(教養教育という意味での教養について聞かれているのだと思って答えますが) 後から「あのとき勉強しておけばよかった」と思うものが教養なのではないでしょうか。

問 2

ご自身が大学生だったとき、東京大学に限らず大学の教育についてどのような考えをお持ちでしたか？ また「教養」というものをどのように考えていましたか？ お書きください。

自分にとって興味のある専門科目を勉強させてもらえるのが大学であり、いわゆる教養課程というのは全くの無駄だと思っていました。

問 3

東大では「教養教育」を掲げ、前期 2 年は教養教育、後期 2 年は専門教育とする特徴的なカリキュラムが組まれています。このカリキュラムの下で、「教養教育」は成功していると思いますか？ また、その理由を教えてください。

成功していると思う

全く個人的に見た範囲でしかありませんが、東京大学の卒業生と、他大学の卒業生の両者を比べた場合、東京大学の卒業生の方がより教養があると思わされることが多い気がします。もちろんそれが教育の成果だと断言はできないのですが、そもそも教育の成功なんていう測りようのない尺度に対して YES/NO で答えさせるのだから、この程度の理由しか書きようがありません。

問 4

東大の教養課程に関して、「ここがダメだ」「ここを変えればもっと良くなるのに」などと感じている不満や要望を教えてください。進学振り分け制度についてや、授業、教官、学生についてなど、とにかく何でも OK です。

進学振り分け制度が、学生に明確な目標を与えている点がダメだと思います。これのために、他の目標を探さないで済んでしまうわけですから。

問 5

もしご自身の手で大学の教育システムを改善するならば、どのような点に着手したいですか？ ビジョンがあれば書いてください。

大学の定員を半分くらいに減らす。あるいは、半分くらいの入学者を落第・退学させる。

問 6

「この人は教養がある！」と思う人は誰ですか？（何人でも書いてください）

ご質問の意図が分からないので答えにくいです。立花隆と書けばいいんですか？

問 7

ご自身の専門以外のトピックについて、「ためになる」「何かを学べる」という理由で利用している Web ページはありますか。あれば具体的に挙げてください。

トピックというのは学問に限っているのでしょうか。そうでなければ、レシピ集のサイトは大変よく利用しています。